

重複した TMS サービスの削除方法とチケットを 実行していない TMS サービスのクリア方法

目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[背景説明](#)

[問題](#)

[解決策](#)

概要

このドキュメントでは、TMS アプリケーションをあるサーバから別のサーバに移行した後にオープン状態の Telepresence Management Suite (TMS) Service Not Running チケットを解決する方法を説明します。

前提条件

使用するコンポーネント

このドキュメントは、特定のソフトウェアやハードウェアのバージョンに限定されるものではありません。

このドキュメントの情報は、Cisco Telepresence Management Suite に基づくものです。

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな (デフォルト) 設定で作業を開始しています。ネットワークが稼働中の場合は、コマンドが及ぼす潜在的な影響を十分に理解しておく必要があります。

背景説明

顧客が TMS アプリケーションを TMS アプライアンスから仮想マシン (VM) に移行したり、VM 間で移行したりすることがあります。TMS はいずれの場合も、移行前のサーバ名で TMS サービスが実行されなくなったことを報告するチケットを生成します。

問題

TMS アプリケーションをあるサーバから別のサーバに移行すると、TMS は、移行前のサーバ名でそれぞれの TMS サービスが実行されなくなったこと示す (次のイメージのような) オープン状態のチケットを報告します。

また、[Administrative Tools] > [TMS Server Maintenance] > [TMS Services Status] には、重複するサービスが表示されます。

解決策

1. [Administrative Tools] > [TMS Server Maintenance] に移動します。
2. [TMS Services Status] バナーをクリックします。これにより、サービス セクションが展開されます。以前のサーバ名での重複するサービスは、ステータスが [Service Stopped] として示されます。
3. [Clear List] ボタンをクリックします。サービス リスト全体がクリアされます。
4. 1 ~ 2 分待つてから、[Refresh] をクリックします。

リストに、サーバの現在のサービスだけが徐々に再び取り込まれていきます。移行前のサーバでの停止した重複サービスは表示されなくなります。最終的には、オープン状態の TMS チケットも削除されます。

注: ステップ 2 は、TMS の機能には影響しません。しかし、少しのユーザにでも影響する場合は、変更することを推奨します。